

会 議 報 告

会 議 名	令和4年度 第4回 東久留米市環境美化推進員連絡会
日 時	令和4年12月19日（月）午後1時30分～午後3時00分
場 所	東久留米市役所7階703会議室
出席委員 （11名）	藤本委員、佐藤委員（花みずきの会）、小俣委員、岸委員、中村委員、下崎委員、 比田井委員（NPO法人 東久留米市文化協会）、當麻委員（東久留米市シニアクラブ連合会）、 三浦委員、松川委員（キャロットクラブ）、吉澤委員 [オブザーバー参加]伊藤氏（日本たばこ産業株式会社東京支社武蔵野サテライトオフィス）、 小山氏（市民環境会議くらし部会長）、別処氏（市民環境会議くらし部会員）、後藤氏（市民環 境会議くらし部会員）
欠席委員 （1名）	末次委員
事 務 局	浅海環境政策課長、高柳計画調整係長、平井生活環境係長、後藤計画調整係主任
次 第	（1）開会あいさつ （2）議題 ①令和4年度第3回連絡会会議報告（案）の確認 …資料1 ②令和4年度第2回環境美化マナーアップキャンペーンの反省 …資料2 ③今後の活動内容（環境フェスティバルへの参加を含む） …資料3-1～3-2 ④情報交換等 …資料4 （3）その他
配布資料	1）次第 2）令和4年度第3回東久留米市環境美化推進員連絡会会議報告（案） …資料1 3）令和4年度第2回環境美化マナーアップキャンペーンについて …資料2 4）今後の活動内容（環境フェスティバルへの参加を含む） …資料3-1 5）愛犬家の皆様へのお願い …資料3-2 6）ゴミ拾い記録簿 …資料4
内 容	（1）開会あいさつ<省略> （2）議題 ① 令和4年度第3回会議報告（案）の確認 ・（案）は了承された ② 令和4年度第2回東久留米市環境美化マナーアップキャンペーンの反省 ○事務局から、令和4年11月1日（火）の商店訪問、令和4年11月8日（水）、9日（木）の清掃活動、環境美化啓発車両用マグネットシートについて説明があった ・商店訪問は、副座長に協力いただき、多くの店舗に啓発ができた ・清掃活動について、東久留米駅周辺では17名（オブザーバー、市民環境会議くらし部会委員や民生・児童委員、事務局含む）、滝山地域では10名（オブザーバー、事務局含む）で行った ・環境美化啓発車両用マグネットシートをタクシー会社2社に24枚、公用車に26枚貼り、令和4年11月1日（火）～9日（水）まで啓発を行った。5月の時よりタクシー会社に依頼した枚数が少ないのは、「TAXI GO」という配車アプリのシートを車体にラッピングしている車両が増えたことによるものであると事務局から説明があった

③ 今後の活動内容（環境フェスティバルへの参加を含む）

○事務局から、令和5年6月に開催予定の環境フェスティバルまでの間の活動内容について説明があった。

- ・第27回環境フェスティバルは、令和5年6月10日（土）、11日（日）に開催予定。事前準備は6月9日（金）に行う
- ・参加団体の申し込みは、令和5年3月1日（水）までを予定している
- ・令和5年2月20日（月）に開催予定の連絡会で、参加するか否か、参加する際のテーマ、参加形態を決定する
- ・参加団体への説明会は令和5年5月16日（火）に行われる
- ・令和5年度のマナーアップキャンペーン、商店訪問等の実施についての内容、日程、回数等を検討していく
- ・散歩のルールチラシ（資料3-2）について、毎年4月に行われる狂犬病予防接種の案内に同封予定
- ・狂犬病集団予防接種会場でチラシを配布するかは未定

④ 情報交換等

○市民環境会議くらし部会から、ごみ拾い活動について説明があった

- ・この活動の発端は、児童の投稿の見守りを目的に民生・児童委員が行っており、市民環境会議の委員でもあるくらし部会員がパトロールと合わせて始めたものである
- ・今回は、南沢・学園町、小山、大門町・浅間町において活動を行っているが、今後も他の地区にも波及させていく予定

○情報交換等

- ・パトロールや見守りからごみ拾いに発展して理由は何か？
→登校時に子どもがタバコの吸い殻が何本落ちていると言われたことがきっかけ。子ども目線で何とかしてほしいと訴えかけている気がした
- ・タバコのフィルターにマイクロプラスチックがあり、環境に影響があるならば、注意喚起してもらいたい
- ・子どもの時からマナーを植え付けることが大切なのではないか？
→小中学校でポイ捨て禁止の教育をしていけばマナーも広がるのではないか
- ・ボランティア袋について、5リットルと40リットルだけでなく、20リットルを作ることを検討してもらいたい
- ・ごみ拾いも多くの人に参加することでポイ捨ての抑止になるのではないか？
→グループ、個人で活動しているので、例えば「〇月〇日はクリーンデーです」と市が音頭を取ってもらうことも考えられる
→環境美化推進員の年齢構成を考えると、啓蒙のウエイトが高い
- ・大人のモラルが欠落している気がする。どう啓蒙していくかが課題である
- ・小山小学校の見守りをしていたが、コロナにより学校と連絡が取れない状態もあった。買い物時などに防犯を兼ねてごみ拾いをしているが、弁当の食べ残しが河川沿いの死角に捨てられている。かつて子の神社には集積BOXもあって、新座市民が捨てに来ることもあり、戸別収集に変わった
- ・公園に落ちているごみを拾うと、他の市民に変に見られる
- ・清掃活動していく中で、感覚的にもごみは減っている

- ・生垣など目につきにくいところにタバコの吸い殻などがまとめて置かれている
- ・食べながら捨てる光景を目にする
- ・ボランティア袋に生活ごみを入れて捨てる人が防犯カメラに写っていた
- ・見守りも行ける人が行き、子どもたちとコミュニケーションを取りながら、やっている。「見守りパトロール中」を自転車に貼っていると効果がある
- ・ポイ捨ても人の目があると抑止になる。イエローチョークもつけることが無くなった。
- ・白山公園はごみ拾いをしないと増える
- ・植栽の植え込みにごみを捨てる外国人がいる
- ・黒目川周辺の市民や事業者の清掃によって、ごみは減ってきた
- ・子どもの声は伝わりやすいので、会社としてマナー啓発を推進していきたい
- ・火のついたタバコが枯葉に捨てられたら火事になるので気を付けるよう啓発してほしい
 - どう止めさせるかが課題。捨てる人が驚くような方策が必要
- ・店舗の前に灰皿を置く店が増えてきた
- ・河川のごみについてはどうすればよいのか？
 - 問い合わせ先がわからなければ、感興政策課に連絡をいただければ、市管理課や東京都に伝える
 - 行政としての対応を考えてほしい。広報する手もある
 - 連絡する際には正確な場所、量などの情報が必要

(3) その他

- ・東久留米駅西口ロータリーにイルミネーションをつけているので、見ていただきたい。
- ・次回第5回連絡会は2月20日(月)午後1時30分から、市役所703会議室で予定